

問1 3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。（2016年 和歌山公立入試 類似）

1. 三国時代 2. 戦国時代 3. 五代十国時代 4. 南北朝時代

問2 埼玉県にある稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた金錯銘鉄剣が出土した一方で、熊本県にある江田船山古墳からも同様に大王の名が記された鉄刀が見つかっています。これらの発見から推測される、5世紀後半における大和政権の状況として最も適切なものはどれですか。（2017年 大阪公立入試 類似）

1. 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。
2. 大和政権の本拠地が、近畿地方から関東地方へ移転した。
3. 九州地方と関東地方の豪族が連合して、大和政権に対抗していた。
4. 朝鮮半島から伝わった鉄器の製造技術が、関東地方でのみ独占されていた。

問3 4世紀から6世紀ごろにかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に欠けていた高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 遣隋使 3. 防人 4. 御家人

問4 5世紀の倭の王が、中国の歴史書である『宋書』倭国伝において「高句麗が道をふさぎ、邪魔をしています」と皇帝に訴え、「安東大將軍」などの高い称号を得ようとした主な目的として最も適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため
2. 中国から金銅の仏像を輸入し、日本国内に仏教を広めるための権威を得るため
3. 朝鮮半島南部から鉄資源を安定的に輸入するための、独占的な貿易許可を得るため
4. 中国の律令制度を導入し、氏族制度を廃止して国内の中央集権化を進めるため

問5 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。（2021年 島根公立入試 類似）

1. 縄文土器 2. 弥生土器 3. 須恵器 4. 土師器

問6 5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）

1. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため
2. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため
3. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため
4. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため

問7 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群には、5世紀頃に造られた日本最大の前方後円墳である大仙古墳が含まれている。このような巨大な古墳が築かれた時代の外交の特徴として、適切なものはどれか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。
2. 中国の北朝へ使者を送り、仏教を公式に伝えるよう要請した。
3. 唐へ遣唐使を派遣し、律令に基づく中央集権的な国家体制を導入した。
4. 元（モンゴル）からの服属要求を拒否し、九州沿岸の防備を固めた。

問8 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。（2021年 大阪公立入試 類似）

1. 鉄剣 2. 銅鏡 3. 埴輪 4. 金印

問9 4世紀から6世紀にかけて朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、仏教のほか、機織り、土木、金属加工といった大陸の進んだ技術を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 渡来人 2. 防人 3. 御家人 4. 遣隋使

答え合わせ・解説

| | | |
|----|---|--|
| 問1 | 答え 1 三国時代 | 3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めようとしていました。 |
| 問2 | 答え 1 大和政権の支配力が、九州から関東までの広い範囲に及んでいた。 | 関東（埼玉県・稲荷山古墳）と九州（熊本県・江田船山古墳）という遠く離れた地域の双方から、大和政権の王であるワカタケル大王の名を記した遺物が見つかったことは、当時の政権の政治的影響力が日本列島の広範な地域に及んでいたことを証明する重要な歴史的事実です。 |
| 問3 | 答え 1 渡来人 | 朝鮮半島での戦乱を逃れるため、あるいは大和政権による招きに応じて日本列島にやってきた人々です。彼らは養蚕、機織り、金属加工、土木技術のほか、漢字や儒教、仏教といった学問や宗教も伝え、古代日本の国家形成に大きな影響を与えました。 |
| 問4 | 答え 1 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため | 5世紀、いわゆる「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に使者を送り、皇帝から「將軍号」などの称号を授けられました。これは国内での支配権を固めるだけでなく、当時対立していた高句麗に対抗するため、朝鮮半島における軍事的な指揮権を国際的に認めさせ、外交上の軍事的優位を確保する狙いがありました。 |
| 問5 | 答え 3 須恵器 | 渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。 |
| 問6 | 答え 1 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めもらうため | 5世紀のヤマト王権にとって、武具や農具の材料となる鉄資源の確保は極めて重要でした。そのため、鉄の供給源である朝鮮半島南部での軍事的な影響力を強化することや、中国の皇帝から称号を授かることで、国内の有力な豪族たちに対して自らの王権の正当性を示すことが、この外交活動の大きな目的となっていました。 |
| 問7 | 答え 1 中国の南朝へ使者を送り、自らの地位を認めてもらう活動を行った。 | 大仙古墳に代表される巨大な前方後円墳が造られた5世紀は、大和政権の王（倭王）が自らの権威を内外に示すために、中国の南朝へ朝貢した時期と重なります。この時期の外交は、朝鮮半島での軍事的な立場を強化し、鉄器の材料となる鉄資源の供給源を確保することが大きな目的の一つでした。 |
| 問8 | 答え 1 鉄剣 | 稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及ぶ漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。 |
| 問9 | 答え 1 渡来人 | 4世紀から6世紀にかけて、朝鮮半島の戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは渡来人と呼ばれ、大陸の高度な技術や文化を日本へもたらしました。彼らが伝えた漢字は、後の公文書作成の基礎となり、仏教の伝来は日本の文化や政治のあり方に大きな影響を与えました。 |